

平成31年2月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
難民を助ける会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 武雄市立山内中学校キャリア教育講演会での講義

企画実施概要： ①実施内容
国際協力NGOの活動やそこで働く職員の姿を紹介し、生徒に将来のキャリアの選択肢の一つとして国際協力やNGOという道を示す。「NGOの仕事とは～国際協力の現場から～」(キャリア研修)と題し講義を行った。

②対象者および参加人数

対象：中学2年生61名

大久保 真紀

2 出張者氏名

※依頼元からの講演依頼書には講演者名が2名記載があるが、実際に講義を行ったのは現場経験がある大久保1名であり、久保田は同行のみ。

3 依頼元/主催団体名

武雄市立山内中学校

4 実施予定日時

平成31年1月17日 (木) 14:00～15:00

5 実施場所

武雄市立山内中学校(佐賀県武雄市)

6 実施報告

・国際協力には様々な担い手があることを説明し多様なキャリアを紹介した。特にNGOで働くということについては、NGOの説明や、NGOの活動例として当会の事例を説明した。また中学生にできる国際協力の取り組みを、他校の事例として紹介した。
・生徒たちから寄せられた感想として、これまで地雷の問題を考えたことがなかった生徒が、自分は道を歩く際になんの不安もないが地雷被害の危険がある中で暮らしている人たちの存在を知り、そういう人々を助けているNGOの存在に心を動かされた、自分も将来人の役に立てるようになりたい、というものや、今自分ができることを考えたい、寄付をしたい、など今後の自分のキャリアや価値観を考える機会となったことがうかがわれるものが多数あった。また、一つの国では解決できない問題を多くの国やNGOなどが協力して努力していることに感銘を受けたなど、国際協力への関心が喚起されたと感じるものも複数寄せられた。

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| 授業の様子 | 授業の様子 |

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 宇都宮大学 講義「国際協力論」ゲスト講師

企画実施概要： ①企画内容：宇都宮大学における、国際的な課題に取り組む国際協力活動に関して取り扱う授業「国際協力論」に、当団体職員を講師として派遣する。
②対象者および参加人数：宇都宮大学学生 約50名

2 出張者氏名 今井 高樹(代表理事)

3 依頼元／主催団体名 宇都宮大学 重田康博教員

4 実施予定日時 平成31年1月17日 (木) 16:10～17:40

5 実施場所 宇都宮大学峰キャンパス5号館B棟2階コモンズ2(住所：栃木県宇都宮

6 実施報告 ・該当企画において、近年の南スーダンの現地情勢を歴史や国際政治の側面から振り返るとともに、現地における各国および日本の国際協力活動について紹介することで、日本のNGOの役割を示した。

・「日本のメディアで報じられない情報を聞いてよかった」、「難民の状況とそれに対する国際社会の役割の全体像が理解できた」などの感想をいただいた。

7 写真



当日の会場で登壇する今井。

(写真1)



講演中でも質問があると随時対応する今井。

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

国際協力に関する講演：「持続可能な開発目標（SDGs）、世界の課題と私たちの生活とのつながり～スマートフォン編～」

企画実施概要：

①企画内容：SDGsを軸に、世界の課題の現状や構造、国際協力の潮流や我が国の取り組み、地域のNGOの活動を紹介。SDGsや国際協力を自身の生活に引き寄せて考える機会を提供した。地域から国際協力やODAの推進について考える機会を若い世代に提供し、国際協力への理解と参画を促進する。今回は、高校生に身近なスマートフォンをテーマとして取り上げた。

②実施対象者：

西宮市立西宮高校2年生約40名、教員数名

2 出張者氏名

谷川詩織

3 依頼元／主催団体名

西宮市立西宮高等学校

4 実施日時

平成31年1月16日（水） 15：20～16：30

5 実施場所

西宮市立西宮高等学校（兵庫県西宮市）

6 実施報告

・生徒たちは、身近な物と世界の課題との繋がりを知り、現地の状況などを想像しながら講義を聞いていた。「解決のために自分たちには何が出来るか？」という問いに悩みながらも議論を進めていた。

・講演後には、教員から国際協力の視点を授業に取り入れることについて相談も受け、教育セクターとしての関心の高さを感じた。一方で、学校・教員とNGO等とのつながりが少ない状況も感じられ、NGO相談員として情報提供や相談対応など協力できる部分があると感じた。

7 写真

| | |
|---|--|
|  | |
| 講演前の様子 | |

(写真1)

以上

平成31年2月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人

日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ

企画実施概要： ①実施内容：国際福祉を学ぶ授業の中で、途上国の公衆衛生について、実際に現場で活動する国際協力NGOのスタッフが講師として、2回に渡り特別授業を行う。

②対象者および人数：16人

2 出張者氏名

大豊盛重

3 依頼元/主催団体名

龍谷大学「ソーシャルワーク現場実習指導Ⅰ」阪口クラス

4 実施予定日時

平成30年12月12日（水） 13:15～14:45

平成31年1月9日（水） 13:15～14:45

5 実施場所

龍谷大学深草キャンパス4号館409教室（京都府京都市）

6 実施報告

アフリカの保健医療について、知ることが出来た

企画書の書き方、事業の立ち上げ方、評価の仕方などが具体的にわかった

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| NGOについての基本的な情報について解説する様子 (大豊) (写真1) | 日本におけるNGOの法人運営について解説する様子 (大豊) (写真2) |

以上

平成31年2月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人

日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 京都洛陽ライオンズクラブ例会

企画実施概要： ①実施内容：社会奉仕を目的として活動をしている団体の例会にて、日本のNGO特に京都に拠点を置く団体の活動を紹介し、国際協力について理解を深める。

②対象者および人数：50人

2 出張者氏名

大豊盛重

3 依頼元/主催団体名

京都洛陽ライオンズクラブ

4 実施予定日時

平成31年1月18日 (金)

12:50~13:20

5 実施場所

京都ホテルオークラ (京都府京都市)

6 実施報告

京都にあるNGOについて、具体的に知ることが出来た。

途上国での支援の必要性を理解することが出来た

7 写真



アフリカでの日本のNGOの活動について解説する様子 (大豊)

(写真1)



解説について熱心に耳を傾ける参加者 (大豊)

(写真2)

以上

平成31年2月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人

日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：夜の図書館カフェ DE トーク

企画実施概要：①実施内容：本トークイベントでは、生物多様性や環境問題について解説してきた。国際的な環境問題について、SDGsの解説も交えて講演する。

②対象者および人数：20人

2 出張者氏名

大豊盛重

3 依頼元/主催団体名

京都市動物園

4 実施予定日時

平成31年1月27日 (日)

17:00~18:00

5 実施場所

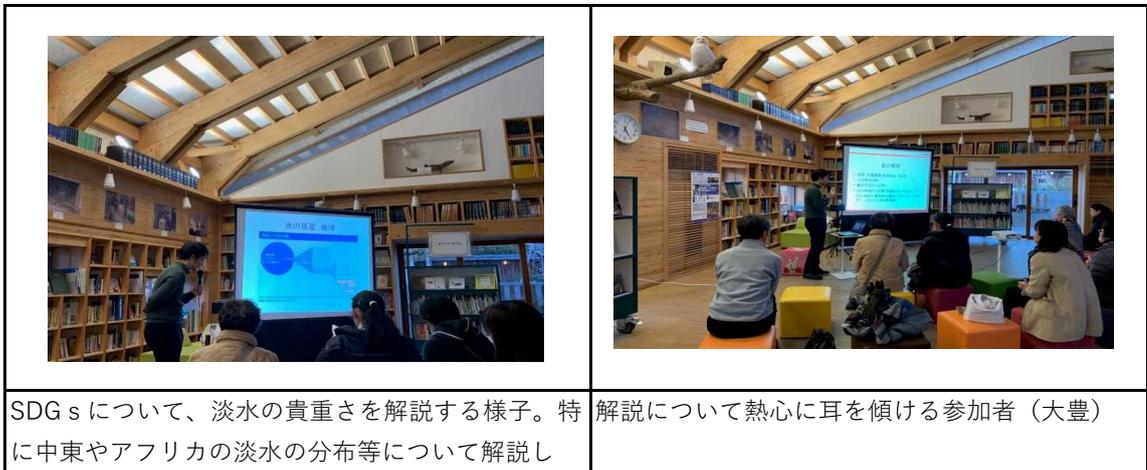
京都市動物園 正面エントランス 図書館カフェ (京都府京都市)

6 実施報告

どのようにしてアフリカで支援を始めたかが分かった。

SDGsのうち水について考えるきっかけになった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 近畿ESDフォーラムでの相談員ブースの出展

企画実施概要:

①企画内容: 環境省と近畿地方ESD活動支援センターが主催する近畿ESDフォーラムにNGO相談員近畿ブロック3団体がNGO相談員ブースを出展し、説明会参加者からの相談を受け付ける。またワークショップでは、NGO相談員制度について広報を行い、今後の連携について話し合う。

②対象者および参加予定人数: 参加者(学校教員・教育関係者、自治体職員、教員を目指す学生など)約100名。相談員ブースは相談者5名、相談件数が10件であった。

2 出張者氏名 大豊 盛重(NICCO)、谷川詩織(関西NGO協議会)、中西美樹(PHD協会)

3 依頼元/主催団体名 環境省近畿地方環境事務所、近畿地方ESD活動支援センター

4 実施予定日時 平成31年1月12日 (土) 12:40~16:15

5 実施場所 OMM(大阪マーチャングイズ・マート)(大阪府大阪市)

6 実施報告 近畿ESDフォーラムに、ESD活動支援センターとの連携強化のため3団体揃って参加した。

13:00~13:30のNGO相談員ブースでは、3名の相談員で対応し、5名の相談者、10件の相談があった。

13:30~15:30のワークショップでは、3団体の相談員が学校関係者、行政、自治体の関係者と構成されるグループに参加し、ESDの取り組みを進めるための話し合いを行った。内容としては、学校関係者の現状とニーズを確認し、NGO相談員から、それにニーズに沿って提案をさせて頂いた。例としては、講演を行うには学校内の手続きが難しい、という相談については、課外活動から初めるなどの提案を行った。

15:40~16:15の全大会では、ワークショップの振り返りを行い、連携のために必要なポイントをそれぞれ確認した。

ワークショップ終了後には、職員の方より、ESDは環境系に強いが国際協力系の分野がカバーできていないため、今後も連携して頂きたいとお話があり、今回参加した意義があったのではと考える。

7 写真



(キャプション) NGO相談員ブースの様子



(キャプション) ワークショップ発表の様子
(中央: NICCO大豊)

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 出水高校での国際協力についての講演

企画実施概要： ①実施内容：出水高校にて「国際理解講座」が開催される。そこで、当会のNGO相談員とアジアの研修生で訪問し、高校生への講演を行う。

②対象者および参加人数：高校生1、2年生 270名 教員 約10名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 鹿児島県立出水高等学校

4 実施予定日時 平成31年1月15日（火） 9:00～9:50

5 実施場所 鹿児島県立出水高等学校 体育館
(鹿児島県出水市)

6 実施報告

鹿児島県の出水高校「国際理解講座」という授業に参加しNGO相談員の制度及びアジアの途上国の抱える問題と日本の現状について講演を行った。最初に、国際協力を行う機関の一つとして外務省を紹介し、そのうえでNGO相談員の制度について言及した。その後、アジアの途上国の現状および諸問題について講演を行い、日本の中でもどのような問題があるかを紹介した。270名という参加者の多い中で、生徒は熱心に講演に耳を固めていた。また講義後には「外国人に初めて会った」というコメントもあった。改めて都市部と地方での情報や機会の格差を感じ、NGO相談員の出張サービスの重要性を実感した。

7 写真



NGO相談員制度についての説明をし、学校関係者・学生にも活用してもらえる旨を伝える。

(写真1)



アジアの国の現状と問題および日本での現状とを比較した内容の講演を行った。

(写真2)

以上

平成31年1月15日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 蕨島小学校での国際協力についての講演および交流

企画実施概要： ①実施内容： 蕨島小学校を当会のNGO相談員とアジアからの研修生で訪問し、全校児童を対象にNGO相談員が国際協力についての講演を、また研修生が出身地域の紹介やそれらの地域が抱える問題について講演を行う。また、研修生たちと児童とが交流する時間を設ける。

②対象者および参加人数： 小学校 1年生～6年生 17名
教員 4名、保護者 2名 計23名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

蕨島小学校

4 実施予定日時

平成31年1月15日（火）

14:15～15:35

5 実施場所

蕨島小学校（鹿児島県出水市）

6 実施報告

小学校1年生から6年生と対象年齢の幅が広がったため、児童たちがより深くアジアの途上国の現状や諸問題について理解するために写真を多く利用し講演を行った。また、民族衣装の試着やミャンマーのタナカを体験してもらい当会の研修生との交流の機会を設けた。実際にアジアの研修生が着付けをしてきたなど、体験型の授業が実施でき、座学を超えた学びがあったと思われる。児童たちは講演中のこちらからの問いかけや、当会研修生たちとの交流に積極的に参加していた様子だった。

7 写真



ミャンマーにおける内戦、ネパールでの震災などアジア諸国が抱える問題について話をした。

(写真1)



児童たちは民族衣装やミャンマーのタナカ体験に積極的に参加していた。

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 熊本市国際交流振興事業団へのアウトリーチ

企画実施概要: ①実施内容: 熊本市国際交流振興事業団を訪問し、八木浩光事務局長と今後の出張サービスとして国際交流イベントでのブース出展や教育機関での講義などを検討した。

②対象者および参加人数:
熊本市国際交流振興事業団 事務局長 八木浩光

2 出張者氏名

(1)(公財)PHD協会 坂西 卓郎氏
(2)(特活)NGO福岡ネットワーク 原田 君子氏

3 依頼元/主催団体名

熊本市国際交流会館

4 実施予定日時

平成31年1月17日 (木) 15:00~16:00

5 実施場所

熊本市国際交流会館(熊本市中央区)

6 実施報告

出張サービスの実施が難しい熊本県でのアウトリーチとして熊本市国際交流会館を訪問し、八木事務局長と今後の協議を行った。熊本市国際交流会館は熊本県内にある全16の大学との連携を始め、九州地方環境パートナーシップオフィス、JICAデスク熊本などのオフィスも同居しており、熊本県内の国際交流・国際協力についての情報が集約される場である。しかしながら、熊本県内でのNGO活動については連携の課題があり、県レベルでのイベントは数年前に中止になって以降再開の目途がたっていない。しかしながらそのイベント予算を活用した助成金の仕組みなどがあり、その説明会での連携の可能性があるとのことだった。また大学コンソーシアムとして県内の大学の有志が集まってイベント運営や会議を行っている。近年はSDGsをテーマにしているということで、そこで「地に足をつけたSDGsについて講義いただくと学生たちに有益」とのコメントがあった。八木事務局長曰く「学生たちにとってSDGsが自分たちの生活レベルとかけ離れて感じるようでゴールの名前を覚える以上にならない」とのことだったので、NGO相談員としてより具体的なSDGsの事例や実践について講義することを検討した。具体的なスケジュールの話もあったので、福岡NGOネットワークさんと協働して話を進め、2019年度の実施につなげるか、もしくは2019年度受託団体に引き継ぎたい。

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>熊本市国際交流会館にて八木事務局長、福岡NGOネットワークの原田事務局長と</p> | <p>当日の会議の様子。左から福岡NGOネットワーク原田氏、PHD協会坂西、熊本市国際交流会八木事務局長</p> |

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年1月29日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

大阪府立渋谷高等学校での国際協力についての講演

企画実施概要:

①実施内容:高校1年生の地理の授業にて、国際協力のあり方について

②対象者および参加人数:高校1年生1クラス40名を2コマ

2 出張者氏名

芳田弓生希

3 依頼元／主催団体名

大阪府立渋谷高等学校

4 実施予定日時

平成31年1月29日（火） 13:20～14:10、14:20～15:10

5 実施場所

大阪府立渋谷高等学校(大阪府池田市)

6 実施報告

担当教師からは、「現地の写真を見せてもらった上での講演だったので、現地の様子がわかりやすく、良かった」と感想をいただいた。生徒からは、「国際協力の方法も、募金、現地への直接的な協力(病院、学校の建設など)など、色々あることがわかった。」等、多くの質問があり、出張した相談員としても、このような質問を多く受けたことで、生徒に国際社会に興味をもってもらい、国際協力への理解が少しでも深まったのではないかと考える。

7 写真



NGO相談員制度について説明をし、国際協力やボランティアに関する質問や相談に答えることを伝えた。

(写真1)



ネパールの村の生活やカースト制度、抱えている課題などを写真を交えて説明する。

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 倉敷市真備町菌小学校「被災者支援活動について」

企画実施概要：

①企画内容
 小学校5・6年生84名および教員5名を対象に、災害緊急支援や難民支援に携わった経験について話す。内容としては、NGOで働くことになったきっかけや活動の中で得たこと、実際に現地活動を行ったネパールでの地震災害やウガンダにおける南スーダン難民の状況、そこでの支援活動内容などをできる限り具体的に話し、NGOで働くということについて児童に伝える。また、2018年の西日本豪雨災害地における支援活動についても述べ、海外と国内も含めて世界で起こる災害支援活動に携わることの意味、感じていることについても話をします。

②参加者数
 菌小学校5・6年生および教員 89名

2 出張者氏名

竹中奈津子

3 依頼元/主催団体名

倉敷市立菌小学校

4 実施日時

平成31年1月29日 (火)

講演時間 10:30~12:30

5 実施場所

倉敷市立菌小学校 音楽室 (岡山県倉敷市真備町)

6 実施報告

報告者が支援の現場で出会ってきた「困難な時にも人を思いやることができる人」について具体例を紹介することで、自分がどのように生きていきたいのかを考える一助とした。

①国際協力とは、NGOとは

菌小学校が避難所であったときの活動を少し振り返り、その他世界各地でPWJが行っている活動を紹介することで、国際協力やNGOの活動の概要を伝えた。また、報告者がNGOで働こうと思ったきっかけも紹介した。

②ネパールでの地震被災者緊急支援

ネパール地震の概要と、初めての緊急支援の現場でとまどったことを伝えた。また、調査に行った先の被災者の方がお茶をふるまってくれたエピソードを紹介した。

③熊本での地震被災者緊急支援

同じ日本での熊本地震の概要と支援活動についての事例を説明した。東日本大震災で被災された方と一緒にいった支援活動や彼の思いを紹介した。

④ウガンダでの南スーダン難民支援

「難民」という支援対象者の存在とそこでの支援活動について説明。支援活動の中で難民をスタッフとして雇用した経緯を紹介することで、働くということが生きていくうえで自尊心を支えるのにいかに重要であるかを伝えた。

7 写真



講演の様子
(写真1)



先生方と
(写真2)

以上

平成31年2月25日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人

えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

企画実施概要：

①実施内容

愛媛県内最大の国際交流・協力イベントに相談員ブースを設けて市民の国際協力に関する質問や相談に対応するとともに、NGO相談員のチラシの配布・ポスターの展示を行うことで普及啓発を行った。また、冊子「四国・国際協力NGOとODA」、ESD・SDGs関連資料等の配布・活用、四国のNGO紹介パネルの展示を行うことで、四国の国際協力団体の活動についての広報を行った。

②対象者および参加人数

一般の方、教育関係者、国際協力に関心のある方 約350名

2 出張者氏名

竹内よし子・菅未帆

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人 愛媛県国際交流協会

4 実施日時

平成31年1月14日 (月) 13:00~17:00

5 実施場所

松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール (愛媛県松山市)

6 実施報告

参加者からの声

① 東京から松山に引っ越して来たばかり。海外や東京で国際協力に長年関わってきたので松山でも関わっていききたい。今日は様々な情報を入手でき、とても心強く感じた。

② 四国の国際交流NGOの取り組みを知り、学校(松山市内の高校)にも話に来て欲しいと強く思った。明日、学校に行ったら先生に相談してみる。外務省NGO相談員出張サービスを活用したい。

7 写真



ブースPR



相談対応

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年1月19日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

福岡県行橋市立泉小学校への出張講義

企画実施概要：

①実施内容

福岡県行橋市立泉小学校の6年生の社会科の授業にて、国際協力への関心・理解を促進するための出張講義を行う。

②対象者および参加人数

NGO福岡ネットワーク（2名）/ 6年生（164名）/ 教員（5名）

2 出張者氏名

原田君子、住本大輔

3 依頼元/主催団体名

福岡県行橋市立泉小学校

4 実施日時

2019年1月19日(土) 10:35～11:20

5 実施場所

会場名：福岡県行橋市立泉小学校（住所：福岡県行橋市）

6 実施報告

「実際に海外で活動した体験談を聞いて学生に国際協力のイメージをもってもらいたい」ということで、インドネシアへ青年海外協力隊として活動していた経験のある事務局員の住本が中心にお話しをさせていただきました。

生徒のみなさんは初めて見るインドネシアの写真に、目をキラキラさせてらっしゃいました。これをきっかけに、ボランティアや国際協力のことをもっと身近に感じてもらえたら嬉しいです。

7 写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>事務局長の原田による国際協力やNGOについての基本的な説明・解説がありました。</p> | <p>インドネシアでの協力活動の発表。発表中は驚いたり、感心したり、素直な反応をいただきました。</p> |

(写真1)

(写真2)

以上